

台湾 桜花日語学園 求人内容

学校概要：

設立：2001年6月 学生数：約520人 教員数：常勤16名 非常勤4名
主なテキスト：みんなの日本語初級、みんなの日本語中級、中級を学ぼうなど
連絡先：台南校 住所：704 台南市北区成功路54号7F TEL：886-6-228-2552 FAX：886-6-228-2561
高雄校 住所：800 高雄市新興区六合二路1号6F TEL：886-7-285-5560 FAX：886-7-285-7323

勤務地：台南校

募集内容：常勤講師 若干名

募集締切：2024/10/19 ※採用者決定により早期に募集を締め切る場合がございますので、ご注意ください。

応募条件：

学歴：短大卒業以上
資格など：特に問わないが日本語教育専攻・副専攻、または日本語教師養成講座修了が望ましい
※短大卒の場合は、日本語教師養成講座等教育訓練を受けていること。
経験：経験者が望ましいが未経験可
中国語：学習歴があることが望ましい
その他：2025年1月より勤務開始可能な方

応募方法：

- ・写真つきの履歴書をE-MAILで送付してください。
- ・その他アピールできる書類があれば同時に添付してください。
- ・書類選考後、合格者には面接(現地面接もしくはWEB面接)の日程の調整を行わせていただきます。
- ・書類送付先：E-MAIL：recruit@sakura-jp.com.tw (採用担当：高山)

給与条件等：

1. 給与

基本給28,600元以上、授業が90時間を越える場合、残業代として授業1時間につき268元以上を基本給に加算する。基本給および残業代の時間単価については経験・経歴等に応じ決定する。

【参考】※2023年入社の方(5名)の最初の3か月の月平均給与：32,546元(年末賞与を含まない金額)

※2023年年間通じて在籍された常勤講師の方の月平均給与：40,969元(年末賞与を含まない金額)

昇給制度あり、年末賞与あり(業績・人事評価による)、派遣手当あり、第3年目に台湾→日本間の往復航空券代補助(金額上限あり)

2. 勤務時間

月～木：9:00～22:00、土：9:00～17:00で当校が指定する時間

※すべての時間ではなく、授業は平日の夜間と土曜日が、平日日中に比べて多くなります。その他法定時間内(一日8時間、週40時間)に面談、研修、ミーティング、教務関連業務が入る時があります。

3. 休暇

日曜日及び祝日(2023年の祝日実績：元旦、中国新年9日間、和平記念日、児童節、労働節、清明節、端午節、中秋節、国慶記念日)、その他有給休暇は初年度3日(半年後より)、2年目は7日

※金曜日は本人との同意があれば授業をアレンジします。その場合、残業代を給与に加算する形で支給します。

4. 契約期間

1年(契約満了後、双方の合意のもと雇用契約を更新します)

5. その他

就労ビザ発給、健康保険・労働保険加入(一部個人負担)、住居の紹介をします。

育児支援手当、大切な人誕生日休暇等、教授法の確認(みんなの日本語導入・練習の確認など)があります。

備考：

- ・現在当校は17名の日本人教師の方々が働いています。各々がいい影響を及ぼし合って、互いに成長していくことを重んじています。
- ・当校の日本人教師は、当校での教師経験が1年目の方から15年目の方までさまざま、皆さん、海外で多少の苦労はしながらも、台湾の方々の優しさに助けられながら、楽しく仕事をしております。
- ・教師専用の控え室があり、授業の準備や、自身の勉強、教師同士の情報交換が可能です。教師全員に机とイスがあります。
- ・教師控え室には本棚があり日本語教育に関する書籍・教材を充実し、個人の勉強及び授業の教材に困ることがないようにしています。
- ・学生は主に大学生や社会人の方です。日本が大好きで日本語に大変興味を持った方がほとんどで皆さん楽しく勉強しています。
- ・クラスは6人以下の少人数クラスを中心に授業を行っており、未経験の方でもクラス運営がしやすい環境にあります。
- ・当校WEBサイト「人材に関する考え方と採用情報」<http://www.sakura-jp.com.tw/recruiting/>をご参考ください。
- ・質問事項等ございましたら遠慮なく高山まで(recruit@sakura-jp.com.tw)。



打開門的那一邊就是日本

櫻花日語學園

さくら Sakura Japanese Language School



台南校

住所：〒704 台湾台南市北区成功路 54 号 7F

電話：+886-6-228-2552 FAX：+886-6-228-2561

高雄校

住所：〒800 台湾高雄市新興区六合二路 1 号 6F

電話：+886-7-285-5560 FAX：+886-7-285-7323

URL：<https://www.sakura-jp.com.tw>

当校の概要

◆サービス内容：日本語教育、日本留学代理店及び職業紹介業

【日本語教育】

日本語教育は会話クラス、日本語能力試験対策クラス、その他個人の要望に応じたプライベートレッスンなどを開講しており、2024年10月現在約520名の学生が弊社で日本語を学習しています。

【日本留学代理店】

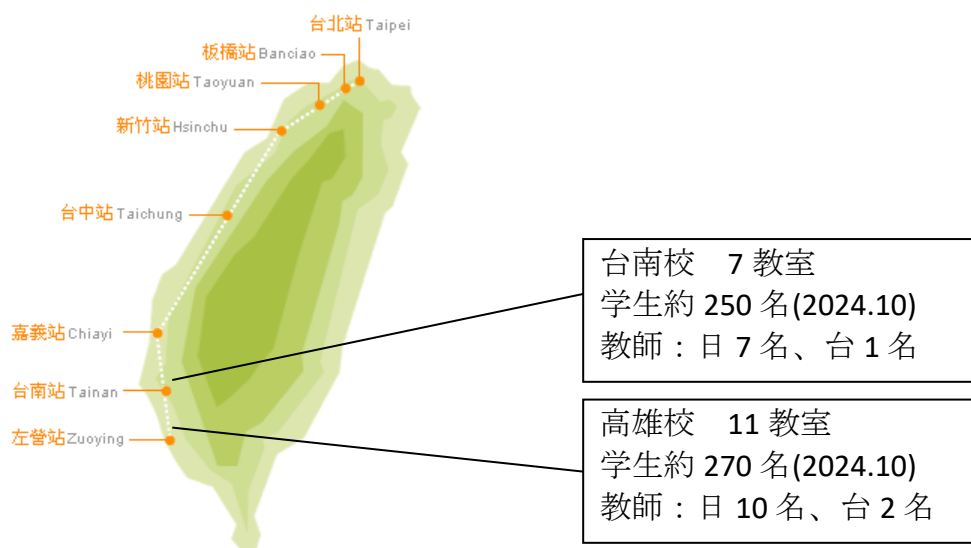
日本留学サービスにおいては現在専門学校・日本語学校・大学等、約40校と提携し、留学カウンセリング及び留学手続き代行業務を行っております。

【職業紹介業】

人材紹介業の免許を有し、日本企業への就職、ワーキングホリデー者へのアルバイトの紹介等の支援を行っております。

◆代表者：台南校代表 高山裕史(名古屋大学大学院工学研究科修士) 高雄校及び国際事業公司代表 吳香霏(南山大学大学院経営学研究科修士)

◆場所・規模等：



◆沿革：

2001年6月：高雄校開校 2007年10月：台南校開校

◆理念・ミッション：

「日本とのかかわりの中で、皆様と喜びを共有し、夢を提供する」

◆キッチフレーズ：

「学ぶ楽しみ、できる喜び、新しい夢にむかって

扉を開けたらそこはもう日本」

◆機関概要(表)

機関名	台南市私立櫻花日語短期補習班 高雄市私立櫻花日語短期補習班 櫻花國際事業有限公司	代表者名	台南校:高山裕史 高雄校:吳香霏 國際事業公司:吳香霏
所在地	台南校:台南市北區成功路 54 號 7F 高雄校:高雄市新興區六合二路 1 號 6F 國際事業公司:高雄市新興區六合二路 1 號 6F		
電話番号	台南校:+886-6-228-2552 高雄校:+886-7-285-5560 國際事業公司:+886-7-285-5560	FAX	台南校:+886-6-228-2552 高雄校:+886-7-285-5560 國際事業公司:+886-7-285-5560
設立	2001 年 6 月 1 月	WEB サイト	www.sakura-jp.com.tw
従業員数	31 名(アルバイト含む)	学生数	約 520 名(2024 年 10 月現在)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教育業 ・日本留学代理店 ・職業紹介業 (私立就業服務機構許可 私業許字第 2712 號)		
ミッション	日本とのかかわりの中で、皆様と喜びを共有し、夢を提供する		
キャッチフレーズ*	学ぶ楽しみ、できる喜び、新しい夢にむかって 扉を開けたらそこはもう日本		
沿革	2001 年 6 月 高雄市私立櫻花日語短期補習班設立 2003 年 11 月 櫻花留學有限公司設立 2007 年 10 月 台南市私立櫻花日語短期補習班設立 2014 年 12 月 櫻花留學有限公司台北分公司設立 2023 年 4 月 櫻花留學有限公司より櫻花國際事業有限公司に社名変更		

当校の経営理念

桜花日語学園は、台湾における日本語学習者のために、以下の経営理念を掲げ、すべてのスタッフ・教師が、当校の価値観を十分に理解しながら、学生方へより大きな価値を提供できるよう、日々努力しています。

◆ミッション(社会的使命)

日本とのかかわりの中で、皆様と喜びを共有し、夢を提供する

◆ビジョン(未来像)

顧客・教師・スタッフ、すべての人が自信に満ちた笑顔になれる空間であり続ける

◆バリュー(価値観)

教師・スタッフ全員が、プロ意識を持って仕事をし、周りに影響力を発揮する

1. 確かな技術と知識を持つ
2. 向上心と責任感を持つ
3. 誠実さと思いやりを持つ
4. 影響力を発揮する

桜花日語学園の経営理念

【ミッション】

日本とのかかわりの中で、
皆様と喜びを共有し、夢を提供する

【ビジョン】

顧客・教師・スタッフ、すべての人が
自信に満ちた笑顔になれる空間であり続ける

【バリュー】

教師・スタッフ全員がプロ意識を持って仕事をし、
周りに影響力を発揮する

1. 確かな技術と知識を持つ
2. 向上心と責任感を持つ
3. 誠実さと思いやりを持つ
4. 周りに影響力を発揮する

職場としての桜花日本語が目指すもの

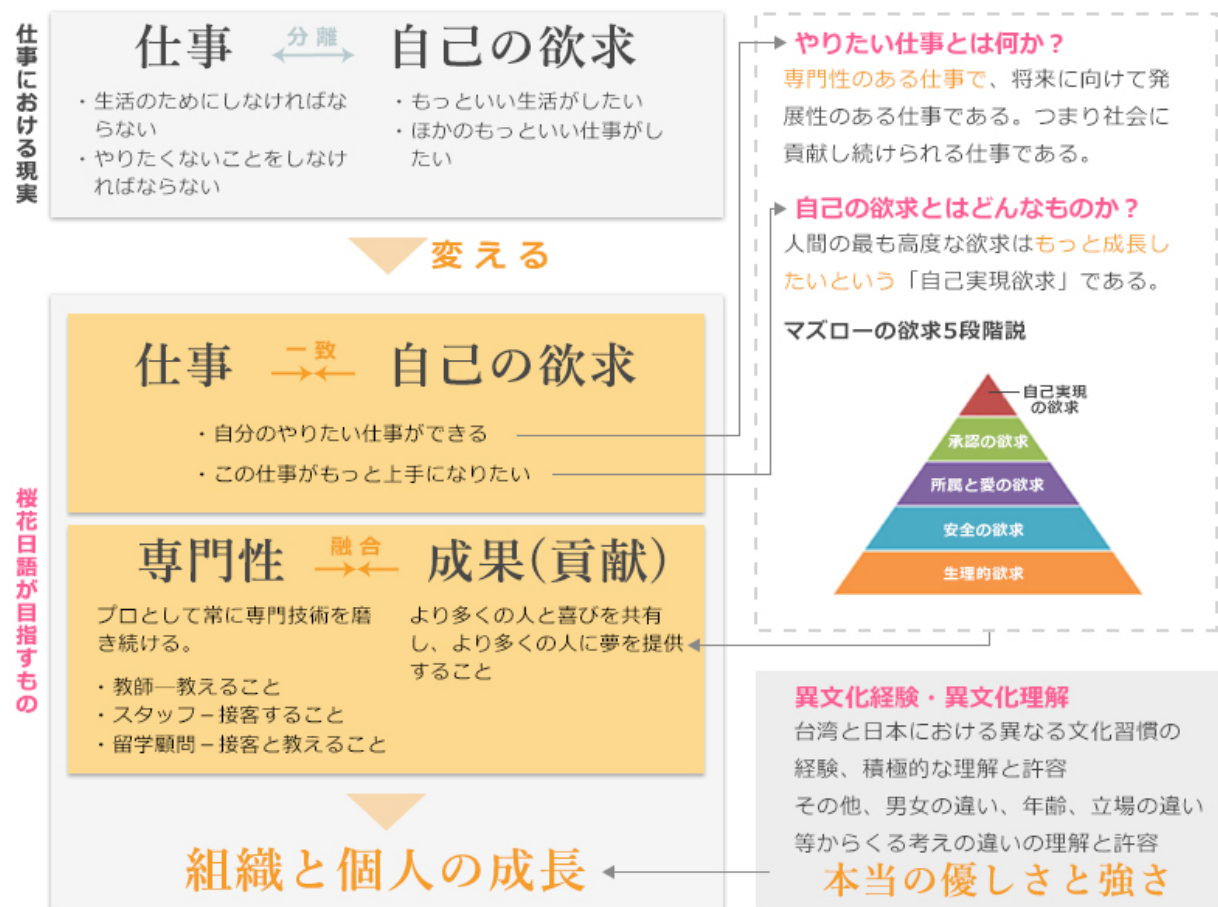
仕事は生活のためにやるものでしょうか？間違いではありませんが、仕事を自分のやりたいこと（自己の欲求）と分けて考えるのではなく、桜花日本語のすべての教師・スタッフが仕事と自己の欲求を強く結びつけることができる組織であることを目指しています。

皆さんは「私は本当に自分がやりたい仕事をしたい！」とっていないでしょうか？やりたい仕事であればその仕事を「もっと上手にできるようになりたい！」と思わないでしょうか？桜花日本語は、教師・スタッフの皆さんが仕事を通じて、もっと成長したいと思える職場になるためには何をすべきかを常に考えています。そして皆さんが仕事のスキルを伸ばすため勉強したいと思うことに対しては積極的に支援しています。

成長したいと強く願えば願うほど、思うように行かないことが生まれて来るのは当然です。いつも皆で励まし合い、お互いにいい影響力を与えながら、乗り越え、皆で喜び合える組織でありたいと思っています。

成長は成果（桜花日本語の理念の達成）を通じて生まれます。成果は専門性を有することと、相手を理解し受け入れる、本当の優しさと強さから生まれます。我々とともに、喜びの共有と夢の提供のために、生き生きと働き、ともに大きく成長しましょう。

桜花日本語が目指すもの



人材について

◆求める人材像

櫻花日語は、自分の仕事に対して、向上心と責任感を持つ人を求めます。我々の仕事はプロの仕事です。それぞれが自分の特技と長所を活かし、その能力を有機的につなげ、常にお客様に喜んでいただけるサービスを提供し続けることが我々の目標です。

また相手に対する思いやりのある方を求めます。日本人と台湾人が一緒に働くこととなりますので、当然価値観の違いに相違することは多くなります。そんなときでも自分の価値観に執着することなく、相手を理解し受け入れる思いやりの気持ちを持つ方を求めます。そういった思いやりが、人としての幅を広げ、自分自身を大きく成長させます。

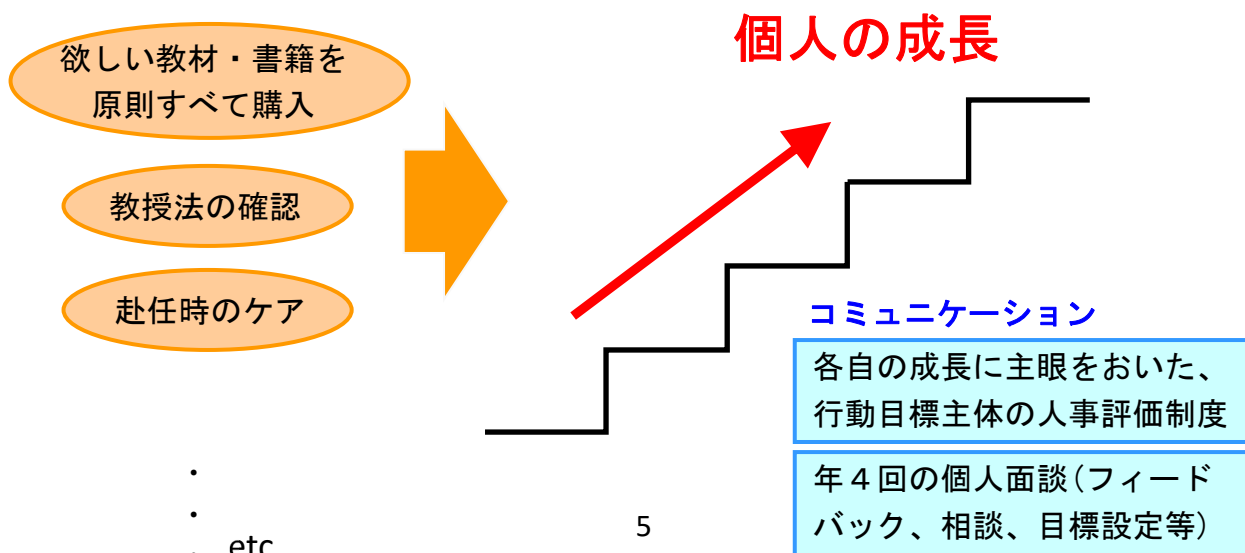
仕事は皆で喜びを分かち合い、楽しくしたいと思っております。楽しく仕事をする必要十分条件は、仕事を通じて自分も含めた自分とかかわるすべての人々の成長を、自分自身が、そしてお互いが感じることができるといことです。櫻花日語での仕事を通じて自分を成長させたい方、皆で喜びを分かち合いたい方を求めます。

◆人材育成について

組織マネジメントにおいて一番大事なものは、教師やスタッフの方々の、自分の仕事能力を高めたいという思いを最大限支援することだと思っております。教師やスタッフの方々のそういった気持ちを絶対に阻害することなく、勉強したいと思うことに対して積極的に支援しております。例えば、勉強のための教材や書籍の購入については、皆の希望をとり原則全て購入しています。新しく当校で働く先生方には、教授法の確認の場を提供し、どのように働けばいいかの手ほどきを行っております。また、いつでもどこでも気軽に、仕事についての相談が出来る環境を作ることが人材育成には大切だと思っておりますので、年4回の面談を行うなど、マネージャは、その気軽な相談相手としていつでも機能できるようにしています。

当校では人事評価制度を導入していますが、単なる査定ではなく、チャレンジ目標主体の、櫻花日語で働くすべての人々の成長に主眼をおいた制度とし、皆の成長を支えています。単に自身の仕事の技術を伸ばすだけでなく、思いやり気持ちを持ち、周りの信頼を得て、いい影響力を發揮していくことが、成果(櫻花日語の理念の達成)を出し、個々が成長していくために必要だと思っておりますので、そういった方面のチャレンジ目標も立てていただいております。

教師の成長を支える取り組み



授業について

◆授業時間について

授業は主に平日の夜間と土曜日の日中となりますが、平日の午前、午後に授業が入ることもございます。平日のグループレッスンには主に月・水もしくは火・木という週2回というセットで授業を組んでいます。金曜は主にプライベートレッスン対応で比較的授業は少なめです。2017年1月からの労働基準法の改正により、金曜日は休日と定め、教師の同意があれば授業をアレンジし、その日の給料を残業代として支給するという形にしています。

例) : ある日本人教師 週 28.5 時間

※あくまで一例で、平日の午前と午後は状況によって大きく変わります。

	9-10	10-11	11-12	12-13	13-14	14-15	15-16	16-17	17-18	18-19	19-20	20-21	21-22
月		進階会話1-2 (みんなの日本語 29~31課)									初級会話2-3 (みんなの日本語 20~22課)	初級会話2-3 (みんなの日本語 20~22課)	
火		初級会話1-1 (みんなの日本語 2~4課)								進階会話1-3 (みんなの日本語 32課~34課)			
水		進階会話1-2 (みんなの日本語 29~31課)								初級会話2-3 (みんなの日本語 20~22課)	初級会話2-3 (みんなの日本語 20~22課)		
木		初級会話1-1 (みんなの日本語 2~4課)								進階会話1-3 (みんなの日本語 32課~34課)			
金						プライベート レッスン					進階会話2-4 (みんなの日本語48~50課)		
土	中級会話1-2 (中級へ行こう3~4課)				進階会話1-4 (みんなの日本語 35~38課)								
日	休 日												

◆教え方について

対象はすべて中国語話者となりますので、すべて直説法で教えることは非効率的といえます。言語を学習するとき、誰でもそうなのですが、新しい文型を学ぶ過程において無意識的に必ず母国語と対照していると思いますので、その力を利用して文型の解説では、中国語と日本語の文法上の構造上の違いを必ず説明し、まずは頭で理解していただきます。そして例文を読んだり、タスクをこなしていくことにより日本語を感覚的に身につけて行ってまいります。教授法の確認を行うときに指導させていただきます。

◆教授法の確認について

日本語と中国語の言語の対照に焦点を当てた文法構造の説明をどのように行うかを中心に確認していきます。みんなの日本語を使用しますので、まずはその1課から50課までの文型の導入方法を中心に、効果的な練習方法等についても確認していきます。その後、授業において改善しなければいけない点等があればミーティングを通じて適宜指導していきます。

開講クラス

現在のクラスは以下のとおりです。1つのクラスを1人の先生が最後まで責任を持って教える担任制をとっているため、学生の状況を常に把握でき、充実した授業を行うことができます。

レベル	会話コース (4～6人少人数クラス)	集中コース	日能試コース		日留試コース
			準備コース	対策コース	
	■基礎会話 (50音、挨拶)	■夏休み・冬休み集中 (みんなの日本語) ■平日集中 (みんなの日本語)			
	■初級会話 (みんなの日本語25課まで)			N5対策 (予想問題集等)	
	■進階会話 (みんなの日本語50課まで)			N4対策 (予想問題集等)	
中級	■初級文法総復習 (短期集中初級日本語文法総まとめポイント20) ■中級会話 (みんなの日本語中級、中級へ行こう、中級を学ぼう前期・中期、ニューアプローチ等) ■日本文化 (日本で暮らす、日本の暮らしと文化等) ■日本地理 (日本地理教室Ⅰ、日本地理教室Ⅱ) ■ビジネス日本語 (日本語で働く:ビジネス日本語30時間、日本企業への就職) ■ニュース日本語 (ニュースで増やす上級への語彙・表現) ■日能N2～N3準備 (文法問題集、新日本語能力試験対策:読解編、聴解スピードマスター、予想問題集等)	■夏休み・冬休み集中N2～N3準備 (文法問題集、新日本語能力試験対策:読解編、聴解スピードマスター、予想問題集等)	■N2～N3準備 (文法問題集、新日本語能力試験対策:読解編、聴解スピードマスター、予想問題集等)	■N2～N3対策 (予想問題集等)	
上級	■上級会話 (日本語上級話者への道、日本語超級話者へのかけはし等) ■日本文化 (日本を探る) ■日本地理 (日本地理教室Ⅲ、日本地理教室Ⅳ) ニュースで増やす 上級への語彙・表現 ■ビジネス日本語 (ロールプレイで学ぶビジネス日本語) ■ニュース日本語 (ニュースの日本語聴解50) ■日能N1準備 (文法問題集、ハイスコア、新日本語能力試験対策:読解編、聴解スピードマスター、予想問題集等) ■BJT対策 (BJTビジネス日本語能力テスト聴解・聴読解実力養成問題集、BJTビジネス日本語能力テスト読解実力養成問題集)	■夏休み・冬休み集中N1準備 (文法問題集、ハイスコア、新日本語能力試験対策:読解編、聴解スピードマスター、予想問題集等)	■N1準備 (文法問題集、ハイスコア、新日本語能力試験対策:読解編、聴解スピードマスター、予想問題集等)	■N1対策 (予想問題集等)	■日本留学試験対策 (ハイレベル読解100、完全攻略問題集[聴解・聴読解]、実践問題集[記述]、過去問等)

教師の成長を支える取り組み

- ・専任教師として採用します。
- ・いつでも先生方が自由に授業の準備や勉強をしていただけるよう教師控室に自分専用の机といす、小さな本棚があります。
- ・毎月1回全員宛にメールを発信し、先生方の欲しい教材を募り、原則すべて学校が購入しています。日本にしかない教材も郵送費も全て学校負担でアマゾンから購入しています。(コロナ以降、現在不定期に購入中)
- ・学生への授業アンケート調査では、授業満足度のほか、「先生をほめて下さい！」の欄をもうけ、先生と学生が気持ちのいい関係を築いていただけるよう努めています。
- ・当校では人事評価制度を導入していますが、単なる査定ではなく、チャレンジ目標主体の成長に主眼をおいた制度とし、教師の成長を支えています。
- ・面談を1年4回実施し、技術的なフィードバックや仕事における相談、チャレンジ目標設定等を行い、1人1人の教師との対面のコミュニケーションを重視しています。
- ・教授法の確認は、初級を中心に文型導入方法や・練習方法についての確認を、中国語と日本語の対照を中心として行っています。
- ・女性の子育てと仕事の両立を支援するため、ベビーシッター等を雇う場合、上限6,000元/月の女性子育て支援手当を支給しています。
- ・誰か大切な人のために自分の時間を提供することは豊かな人生を送る意味でもとても重要です。大切な人誕生日休暇(年1日)というのを提供しています。

赴任時のケア

- ・住居探しを行います。
- ・住居契約の付き添いを行います。
- ・銀行口座開設、携帯電話(SIMカード)購入のお手伝いをします。
- ・住まいや生活面での問題について、事務スタッフがサポートします。
- ・新任教師の方には、教授法の確認の場を提供しています。(初級の文型導入・練習、中国語と日本語の対照を中心として)
- ・赴任時に同僚教師との顔合わせを行い、食事会を開催しております。(現在はコロナ感染を避けるため自粛中)

給与、生活費等

【給与等条件】

1. 給与

基本給 28,600 元以上、授業が 90 時間を越える場合、残業代として授業 1 時間につき 268 元以上を基本給に加算する。基本給および残業代の時間単価については経験・経歴等に応じ決定する。

【参考】

※2023 年入社の方(5 名)の最初の 3 か月の月平均給与：32,546 元(年末賞与を含まない金額)

※2023 年年間通じて在籍された方の月平均給与：40,969 元(年末賞与を含まない金額)

昇給制度あり、年末賞与あり(業績・人事評価による)、派遣手当あり、第 3 年目に台湾→日本間の往復航空券代補助(金額上限あり)

2. 勤務時間

月～木：9:00～22:00、土：9:00～17:00 で当校が指定する時間

※すべての時間ではなく、授業は主に午前もしくは夜間になります。その他法定時間内(一日 8 時間、週 40 時間)に面談、研修、ミーティング、教務関連業務が入る時があります。

3. 休暇

日曜日及び祝日(2023 年の祝日実績：元旦、中国新年 9 日間、和平記念日、兒童節、清明節、労働節、端午節、中秋節、国慶記念日)、その他有給休暇は初年度 3 日(半年後より)、2 年目は 7 日

※金曜日は本人との同意があれば授業をアレンジします。その場合、残業代を給与に加算する形で支給します。

4. 契約期間

1 年 (契約満了後、双方の合意のもと雇用契約を更新します)

5. その他

就労ビザ発給、健康保険・労働保険加入(一部個人負担)、住居の紹介をします。育児支援手当、大切な人誕生日休暇等、教え方の確認の場(みんなの日本語導入・練習の方法など)の提供があります。

【月生活費(切り詰めた場合の概算)】

家	賃	：約 8,000 元
光	熱	費：約 1,200 元
携	帯	電 話 代：約 1,000 元
食		費：約 6,000 元
そ	の	他：約 5,000 元
合	計	：約 21,200 元

住まいについて

住まいは、学校の近くで物件探しのお手伝いをします。
一般的には以下のような条件となり、できるだけ清潔で安全な物件をお探しします。布団さえ購入すればすぐに住むことができます。

【一般的条件】

家賃： 6,000 元～9,000 元ぐらい(27,000 円～40,500 円ぐらい)

※流し台、簡単なキッチンスペースがあるともう少し高くなります。

保証金：家賃 2 ヶ月分

※一般的に契約は 1 年で 1 年以上住んで問題なければ、保証金は全額返金されます。

設備：シャワー、トイレ、エアコン、インターネット

※一般的に洗濯機は共用、キッチンはありません(習慣上外食が一般的なので)

備品：ベッド、机、いす、クローゼット、テレビ、照明



※写真は一例です。

校内風景

当校では、「楽しく勉強できる学習環境」の整備を常に進めています。教師室は高雄校、台南校、台北校ともにもあり、自由に授業の準備や個々の勉強をしていただくことができます。また、常に教師が自由に使用できる教材をなるべくたくさんそろえるよう努めています。

①台南校



②高雄校



外観



校内



校内



カウンター



閲覧コーナー



視聴教室



教師控室



教師用図書・教材コーナー



小教室



授業



授業

当校に関するQ&A

授業時間数は、1日だいたいどのくらいでしょうか。

授業は主に平日の午前中 10:00~12:00、夜間 18:30~20:00、20:00~22:00 の3クラス、土曜は 9:30~12:30、13:30~16:30 の2クラスに授業が入るのが一般的で、大体一日4時間~6時間といったところです。平日の午後に授業が入ることもございます。平日のグループレッスンには主に月・水もしくは火・木という週2回というセットで授業を組んでいます。7月初旬~9月上旬は夏休みクラス、1月中旬~2月中旬は冬休みクラスがありますので、先生方にはお昼に授業があつたりしてがんばってもらっていますが、個人の都合や体力などもありますので、そのところは個別に相談しながら授業をアレンジしています。

そちらで働いていらっしゃる日本語教師の方は、何人くらいいらっしゃいますか。

日本語教師は合計20名です(日本人17名、台湾人3名)。

テキストは何を使っていらっしゃいますか。

初級は「みんなの日本語」、中級以上は、目的に応じて会話中心クラスなら「みんなの日本語中級」、「中級を学ぼう」、「日本語上級話者への道」、日能試対策なら「日本語能力試験対応文法問題集」、「日本語上級読解」などを使用しています。

直説法、間接法、どちらでしょうか。

対象はすべて中国語話者となりますので、すべて直説法で教えることは非効率的といえます。言語を学習するとき、誰でもそうなのですが、新しい文型を学ぶ過程において無意識的に必ず母国語と対照していると思いますので、その力を利用して文型の解説では、中国語と日本語の文法上の構造上の違いを必ず説明し、まずは頭で理解していただきます。そして例文を読んだり、タスクをこなしていくことにより日本語を感覚的に身につけて行ってもらいます。

実際に教える場合、担当する学習者のレベルは決まっているのでしょうか。

授業は主に、みんなの日本語を使った会話クラスを担当していただきます。まずはみんなの日本語で十分基本を養ったあと、違う教科にチャレンジしていただくというのが基本的な方針ですが、状況によりそれとは別のクラスを担当していただくこともございます。みんなの日本語については、特に文法解説時におけるわかりやすい提示のしかたを中心に確認していきます。その他、日ごろの授業において何か問題等ないか、よりステップアップするためにいい方法はないか等、適宜ミーティングを行います。

貴校の学生はどういった方が多いのでしょうか。

学習者は、若い人を中心に学生から社会人まで、年齢は10代から60代まで幅広くいます。レベルは初級~上級までまんべんなくいます。目的はさまざまで、日本に対する興味、仕事での必要性、就職に有利、留学目的等いろいろです。弊校は日

本語専門なので、日本語の授業なら何でも幅広くやっています。

中国語の能力はどの程度必要でしょうか。

中国語能力は、まずは簡単な会話ができるレベルがあれば結構です。特に初級で中国語が必要になりますが、日本語の初級の解説をする場合は、中国語でも初級です。板書に簡単な中国語の説明を書きまわせば、学生はほとんど理解してしまいます。板書の書き方については、教授法の確認で指導していきます。あとは、生活面において少しは使えた方が、より有意義な外国生活が送れるということです。

こちらに来てから中国語塾に通われても、またいいのではないのでしょうか。授業の時間との兼ね合いもありますが、そのあたりは相談することができます。

契約期間はどれくらいでしょうか。

1年ごとに双方の合意のもと、契約更新としております。教師というのは、実際どれだけ教壇に立ったかの経験が非常にものをいう職業です。外国で働くこととなりますので、事情があって早く日本に帰らなければならないこともあるかと思いますが、当校にとっては長く働いていただいた方がありがたいとは考えておりますし、長く働いていただけるような環境づくりに努めております。

応募資格に『資格など特に問わない』とありましたが、貴校には日本語教師の資格を持っている方も働いていらっしゃいますか。

資格などは特に問いませんが、日本語教育能力検定に合格されている方が数名おります。

教授法の確認はどのような方を対象に行っているのでしょうか。

桜花日本語の教え方がございますので、その確認を全員と行っております。確認のレベルは日本語教師歴によって変わります。

具体的にはどのような確認なのか、教えていただけますでしょうか。

まずは日本語と中国語の言語の対照に焦点を当てた文法構造の説明をどのように行うかを中心に確認していきます。その後、授業において改善しなければいけない点等、ミーティングを通じて適宜指導していきます。

面接の日程等を教えていただけますでしょうか。

書類審査で弊社が合格と判断した時点で、現地面接もしくは電話面接 (WEB 面接) させていただきます。面接後、合否結果の通知を行います。

来台の流れについて教えていただけますでしょうか。

採用決定者には、採用通知後のビザ申請などスケジュールを決めさせていただきたいと思っております。まずは当校で就労許可申請を行います。申請には 10 日程度かかります。就労許可申請には健康診断書、大学の卒業証書のコピー等が必要となります。

すが、必要書類の詳細については採用決定時に詳しくお伝えいたします。その後、日本にある台湾の在外公館である台北駐日経済文化代表で居留ビザ(就労ビザ)の申請を行っていただき、来台していただきます。そして台湾入国後に、居留証の発行(10日程度)を行います。

台湾に赴任するときに大体どれくらいのお金を持っていけば、十分でしょうか。

弊校教師からは、大体日本円で20万円ぐらいあればいいと伺っております(現在は円安の影響がありますので25万円以上あったほうがいいかもしれません)。主にかかるのは、住まいの保証金と最初の家賃、生活を開始するための日用品の購入、給料が入るまでの生活費になるかと思います。

健康保険の個人負担額はいくらでしょうか。加入はいつからできますでしょうか。

健康保険の個人負担額は所得に応じて代わりますが、毎月450～650元程度(2,025～2,925円程度)が基本となります。風邪などで医者にかかる場合なら、薬を含めて1回150元～200元が一般的です。その他労工保険にも加入しますが、毎月650元～900元程度(2,925円～4,050円程度)となります。

健康保険は居留証が発行されてからの加入となりますので、渡航日から3週間程度の海外旅行保険に加入されることをおすすめします。

住居費、インターネットの使用の可否について教えていただけますでしょうか。

住居は高雄も台南も6,000元～9,000元ぐらい(27,000円～40,500円ぐらい)で家具付きのワンルームを弊校が代わりに探すことができます。家具は一般的に、ベッド、机、いす、テレビ、照明で、布団さえ購入すればすぐに生活できるようになっています。あと日本と違い外食が習慣づいているので、残念ながらキッチンがないところがほとんどです。洗濯機は共用のところが多いかと思います。インターネット及びケーブルテレビがあらかじめついているところが多いです。インターネットは学校のネットワークがブロードバンド及びWi-Fiに対応していますので、学校のパソコンもしくは持参したノートパソコンからインターネットにアクセスできますが、自宅に設置したい場合は、弊校のスタッフがお手伝いいたします。

携帯電話はどうされていますでしょうか。

シムフリーのスマートフォンなら台湾のSIMカードが使用できます。シムフリーでない場合は、シムロック解除を日本でできてください。居留証を取得するまでは、1か月等の期限付きのSIMカードを、居留証を取得されてからは月払いのプリペイド式のSIMカードを購入されるといいと思います。

銀行口座は開設できるのでしょうか。

台湾で銀行口座は開設できます。しかし銀行口座の開設は居留証の発行後となりますので、それまではクレジットカード会社の海外キャッシングサービスを利用したりするのがいいと思います。

いただいた給料で十分生活できるのでしょうか。

あまり贅沢をせずに本当に質素な生活でしたら、高雄、台南ですと家賃等含めてNT\$21,000元(約¥94,500円)あれば大丈夫かと思えます。給料の中で生活することは問題なくできます。

どの教材を持参したほうがよろしいのでしょうか。

教科書、参考書などについて、みんなの日本語等、授業でメイン教材として使用するものは、台湾版をこちらで購入することとなるかと思えますので、もし台湾版をお持ちでしたら、こちらに持ってきていただければと思います。後は、特にございません。自分が必要だと思うものを持っていただければと思います。予め当校宛に郵送していただいても構いません。こちらにいらっしゃった後、住まいまでお運びします。

皆で共有している学校の教科書、教材は、かなり多数そろっているとは思えます。

授業をする際の服装はどんなものいいのでしょうか。学校の規定等ございますでしょうか。

服装は、特に規定はございません。清潔感があり、学生に好まれる服装であればどんな服装でも大丈夫です。

旅行で台湾に行くのですが、そのときに貴校を見学させていただくことは可能でしょうか。

台南校、高雄校どちらでも可能です。採用を担当しております高山(recruit@sakura-jp.com.tw)までお申し付けください。

台北は行ったことがあるので知っているのですが、高雄、台南はどんなところでしょ

うか。台湾南部に位置し亜熱帯に属するので暑いのですが、年中暑いわけではなく、12月ごろから3月ごろまでは、20℃～25℃ぐらいで天気も良く非常に過ごしやすいです。気候のせいでしょうか、台北など台湾北部と違い全体的にゆったりした感じや開放感があり、人も非常に人情味に厚く、基本的に親日的なので日本人にとっては過ごしやすいかと思えます。また、都市機能もそろっていますし、台北ほどではないですが日本食の店もそれなりにありますので、食生活で大きく困ることはないかと思えます。便利さならば、やはり日本の感覚により近い台北がいいかと思えますが、ゆったりとした台湾らしさを実感したいならば、台湾南部(高雄や台南)での生活もお薦めします。

その他わからないことがございましたら、採用担当の高山(recruit@sakura-jp.com.tw)まで、遠慮なくご質問ください。